

お台場旧防波堤（2 島）における鳥類のモニタリング調査 冬季調査（1 月）報告書

2022 年 2 月 一般社団法人お台場海づくり協議会

1. 調査目的

お台場海浜公園内旧防波堤における鳥類の生息環境の保全について検討するために、当地における鳥類の利用状況の現況を把握するとともに、今後の経年変化を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象地域

旧防波堤 2 島及び周辺水域（周辺 50 m 程度）

3. 調査期日等

調査期日等を表 1 に示す。

表 1 調査期日等

調査期日	調査時間	天候
令和 4 年 1 月 20 日（木）	8：00～14：00	晴のち曇

4. 調査方法

各調査項目において、倍率 8～10 倍程度の双眼鏡や倍率 20～60 倍程度の望遠鏡等を必要に応じて使い分けながら調査を実施した。また、上陸後に実施する（2）～（4）の調査については、調査精度と定量性を確保するため、2 島に調査員を 1 名ずつ配置し、2 島同時に実施した。また、補足調査として（5）の調査を行った。

（1） 船上センサス

2 島の 50m 程度沖を船舶により定速で周回しながら、2 島及び周辺を観察し、目視または鳴き声等で確認された鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。

（2） ラインセンサス

2 島の岸沿いを縦断するセンサスルートを設定し、時速 1～2km 程度の速度で歩きながら目視または鳴き声等で確認された鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。センサスルートは各島に 1 本を設定し、観察範囲は片側 50m（両側 100m）とした。

(3) 定点観察調査

2 島の各 2 点に眺望のよい定点を設定し、目視または鳴き声等で確認された鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。観察半径は 50m 程度、調査時間は各 30 分間とした。

(4) 任意観察調査

2 島を任意に踏査し、目視または鳴き声等で確認された鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。

(5) その他

- 自動撮影カメラによる調査

第 5 回秋季調査(※調査回の定義については後述する。)においてホンダタヌキのため糞が確認されたため、同回の冬季調査から自動撮影カメラを西島に 1 台設置した。今回、回収するデータの撮影期間は前回調査から 91 日間であった。(第 7 回秋季調査～第 7 回冬季調査)

- その他の生き物の記録

鳥類調査時に特記すべき生き物が確認された場合は、種名、個体数、行動等を記録した。



写真 1(1) 各調査手法における調査風景



写真 1(2) 各調査手法における調査風景



図 1 調査地点

5. 評価方法

(1) 調査回の定義

各調査結果をとりまとめ、過去の調査と比較をすることで、今回の調査結果の評価をした。調査回の定義を表 2 に示す。今回は第 7 回の冬季調査にあたる。

表 2 調査回の定義

調査回	調査時期
第 1 回	平成 27 年夏季～平成 28 年春季
第 2 回	平成 28 年秋季～平成 29 年夏季
第 3 回	平成 29 年秋季～平成 30 年夏季
第 4 回	平成 30 年秋季～令和元年夏季
第 5 回	令和元年秋季～令和 2 年夏季
第 6 回	令和 2 年秋季～令和 3 年夏季
第 7 回	令和 3 年秋季～令和 4 年夏季(予定)

(2) 重要種の選定根拠

重要種の選定根拠を表 3 に示す。これらのうち、いずれかに該当する種を重要種として記録した。

表 3 重要種の選定根拠

No.	選定資料	カテゴリー
①	「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)	特天:特別天然記念物 天 :天然記念物
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成 4 年、法律第 75 号)※以下、種の保存法と記す	国内:国内希少野生動植物種 国際:国際希少野生動植物種
③	「環境省レッドリスト 2020 鳥類」(令和 2 年、環境省) ※以下、環境省 RL と記す	EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 CR:絶滅危惧ⅠA 類 EN:絶滅危惧ⅠB 類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群
④	東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)2020 年版 『東京都レッドリスト(本土部)2020 年版』 (令和 2 年、東京都)※以下、東京都 RL と記す	EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 CR:絶滅危惧ⅠA 類 EN:絶滅危惧ⅠB 類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群 *:留意種

6. 調査結果

(1) 現地調査結果

鳥類確認種目録を表 4、船上センサス結果を表 5、ラインセンサス結果を表 6、定点観察結果を表 7 に示す。

- 現地調査の結果、10 目 21 科 36 種が確認された（表 4）。
- 確認種の半数以上は水域及びその周辺に生息する鳥類であり、カルガモやアオサギ、セグロカモメ等 20 種が確認された。島内では、シジュウカラやヒヨドリ、ツグミ等の森林及びその周辺に生息する鳥類が 10 種確認されたほか、ムクドリやスズメ、ドバト等の都市部で見られる鳥類が 3 種、キジバトやトビ、ハシブトガラス等の様々な環境で見られる鳥類が 3 種確認された（表 4）。
- 渡り区分別にみると、キジバトやウグイス、カワラヒワ等の留鳥（ある地域で一年中見られる種）が最も多く、次いでハシビロガモやセグロカモメ、ジョウビタキ等の冬鳥（ある地域で冬に見られる種）が確認された。
- 重要種はホシハジロ、スズガモ、ホオジロガモ、ウミアイサ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、オオバン、イソシギ、ウミネコ、トビ、ノスリ、カワセミ及びイソヒヨドリの合計 13 種が確認された（表 4）。島内では、護岸及び砂地で採餌及び休息をするイソシギ、護岸で採餌及び休息をするイソヒヨドリ、混交林にとまるカワセミが確認された。島外では、海域で遊泳、採餌及び休息をするホオジロガモ、ウミアイサ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ及びオオバン、海域で遊泳及び休息をするスズガモ、海域を遊泳するホシハジロ、海域上空を通過するウミネコが確認された。また、島内外の上空を採餌飛翔するトビ、上空を通過するノスリが確認された。
- 外来種はドバトが確認された（表 4）。
- 確認個体数が最も多かった種はスズガモであった。本種は、船上センサスにおいて両島で合計 302 個体（表 5）、定点観察調査では合計 450 個体（表 7）が確認された。先述したとおり、海域で遊泳及び休息をする様子が確認された。
- スズガモに次いで確認個体数が多かった種はカワウであった。本種は、船上センサスにおいて両島で合計 128 個体（表 5）、ラインセンサスでは合計 125 個体が確認され、優占度は東島で 72%、西島で 37%を占めた（表 6）。定点観察調査では合計 113 個体（表 7）が確認された。広葉樹林、護岸及び砂地で休息、海域で採餌、島内外の上空で飛翔が確認された。なお、島内の広葉樹林等では繁殖巣が確認され、親鳥による巣内雛への給餌の様子が観察された。
- ヒヨドリが広葉樹林でヘクソカズラの実を、ツグミが低茎草地の地表で昆虫類を採餌する様子等が確認された。
- 調査日は西からの風が強かったが、旧防波堤内の樹林が防風林となり、島の東側で遊泳、採餌及び休息をするカモやカイツブリなどの水鳥が多く見られた。

(2) 過去調査との比較

それぞれの前回調査（冬季）との比較について、表 8 に確認種、表 9 に船上センサス結果、表 10 にラインセンサス結果、表 11 に定点観察結果、表 12 にこれまでの鳥類確認種目録を示す。

- 前回調査と今回調査の確認種数は、第 6 回では東島で 28 種、西島で 24 種、合計 32 種、第 7 回では東島で 31 種、西島で 28 種、合計 36 種であった（表 8）。第 6 回及び第 7 回で共通して確認された種は 30 種と確認種全体の 8 割ほどであり、鳥類相に大きな変化は見られなかった。
- 第 6 回で確認されず第 7 回で確認された種はヒドリガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、ホオジロガモ、カワセミ及びドバトの 6 種であり、第 6 回で確認され第 7 回で確認されなかった種はミミカイツブリ及びシメの 2 種であった（表 8）。ヒドリガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、カワセミ及びドバトはこれまでも不定期的に記録されている種であり一時的に周辺海域に飛来したものと考えられる。なお、ホオジロガモは今回初記録であり、本種も一時的に鳥の島に飛来したものと考えられる。
- 第 6 回より第 7 回で個体数が多く、優占度が高い種はスズガモであった（表 9、10、11）。先述したとおり、海域で遊泳及び休息をする様子が確認された。

(3) その他

その他方法（自動撮影カメラによる調査及び鳥類調査時の他項目の調査）による結果について鳥類 4 目 4 科 4 種、哺乳類 2 目 2 科 2 種が確認された。

- 自動撮影カメラの画像を解析した結果、鳥類ではカワウ、キジバト、オオコノハズク及びハシブトガラスの 4 種、哺乳類ではアライグマ及びドブネズミ 2 種が確認された。
- 重要種のオオコノハズク（東京都 RL：情報不足）が 12 月 19 日及び 29 日に撮影され、鳥の島を餌場として利用していると考えられる。
- 特定外来生物のアライグマが 1 月 7 日及び 8 日に撮影され、第 5 回目秋季調査以来の中型哺乳類の確認となった。

表 4 鳥類確認種目録

No.	目名	科名	種名	渡り 区分	調査時期		重要種選定基準			
					冬季(1月)		①	②	③	④
					東島	西島				
1	カモ	カモ	ヒドリガモ	冬鳥		○				
2			カルガモ	留鳥	○					
3			ハシビロガモ	冬鳥	○	○				
4			オナガガモ	冬鳥	○					
5			ホシハジロ	冬鳥		○				VU
6			スズガモ	冬鳥	○	○				*②
7			ホオジロガモ	冬鳥	○					VU
8			ウミアイサ	冬鳥	○					DD
9	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	冬鳥	○	○				*②
10			ハジロカイツブリ	冬鳥	○	○				NT
11	ハト	ハト	キジバト	留鳥	○	○				
12	カツオドリ	ウ	カワウ	留鳥	○	○				
13	ペリカン	サギ	アオサギ	留鳥	○	○				
14	ツル	クイナ	オオバン	留鳥	○	○				CR
15	チドリ	シギ	イソシギ	留鳥	○	○				VU
16		カモメ	ユリカモメ	冬鳥	○	○				
17			ウミネコ	留鳥	○	○				*①
18			セグロカモメ	冬鳥	○					
19	タカ	タカ	トビ	留鳥	○	○				NT
20			ノスリ	冬鳥	○					CR
21	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	留鳥	○					VU
22	スズメ	カラス	ハシブトガラス	留鳥	○	○				
23		シジュウカラ	シジュウカラ	留鳥	○	○				
24		ヒヨドリ	ヒヨドリ	留鳥	○	○				
25		ウグイス	ウグイス	留鳥	○	○				
26		メジロ	メジロ	留鳥	○	○				
27		ムクドリ	ムクドリ	留鳥	○	○				
28		ヒタキ	シロハラ	冬鳥	○	○				
29			ツグミ	冬鳥	○					
30			ジョウビタキ	冬鳥		○				
31			イソヒヨドリ	留鳥	○	○				NT
32		スズメ	スズメ	留鳥	○	○				
33		セキレイ	ハクセキレイ	留鳥	○	○				
34		アトリ	カワラヒワ	留鳥		○				
35		ホオジロ	アオジ	冬鳥	○	○				
36	ハト	ハト	ドバト	留鳥		○				
合計	10 目	21 科	36 種	-	31 種	28 種	0 種	0 種	0 種	13 種

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

注 2. 重要種選定基準は表 3 に従った。

注 3. 重要種選定基準④(東京都 RL) * :留意種

* 1: 準絶滅危惧(NT)に準ずる(現時点では絶滅のおそれはないが、生息環境が減少していることから動向に留意する必要がある)

* 2: 人為的な環境配慮により個体群が維持されている。

表 5 船上センサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期		合計 個体数
				冬季(1月)		
				東島	西島	
1	カモ	カモ	カルガモ	2	0	2
2			スズガモ	252	50	302
3			ホオジロガモ	2	0	2
4	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	26	0	26
5			ハジロカイツブリ	2	22	24
6	カツオドリ	ウ	カワウ	76	52	128
7	ペリカン	サギ	アオサギ	2	2	4
8	ツル	クイナ	オオバン	1	0	1
9	チドリ	シギ	イソシギ	1	1	2
10		カモメ	ユリカモメ	3	0	3
11	スズメ	カラス	ハシブトガラス	3	4	7
12		ヒヨドリ	ヒヨドリ	3	6	9
13		セキレイ	ハクセキレイ	0	2	2
14		ホオジロ	アオジ	0	1	1
合計	7 目	11 科	14 種	373	140	513
				12 種	9 種	14 種

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 6 ラインセンサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				冬季(1月)				
				L1(東島)		L2(西島)		
				個体数	優占度	個体数	優占度	
1	ハト	ハト	キジバト	0	0%	2	5%	2
2	カツオドリ	ウ	カワウ	111	72%	14	37%	125
3	チドリ	シギ	イソシギ	2	1%	0	0%	2
4		カモメ	ユリカモメ	3	2%	1	3%	4
5	スズメ	カラス	ハシブトガラス	6	4%	2	5%	8
6		シジュウカラ	シジュウカラ	2	1%	7	18%	9
7		ヒヨドリ	ヒヨドリ	12	8%	5	13%	17
8		ウグイス	ウグイス	2	1%	1	3%	3
9		メジロ	メジロ	2	1%	1	3%	3
10		ムクドリ	ムクドリ	2	1%	2	5%	4
11		ヒタキ	シロハラ	1	1%	0	0%	1
12			ジョウビタキ	0	0%	1	3%	1
13		スズメ	スズメ	7	5%	0	0%	7
14		セキレイ	ハクセキレイ	2	1%	0	0%	2
15		アトリ	カワラヒワ	0	0%	1	3%	1
16		ホオジロ	アオジ	3	2%	1	3%	4
合計	4 目	15 科	16 種	155	100%	38	100%	193
				13 種		12 種		16 種

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 7 定点観察結果

No.	目名	科名	種名	調査時期								合計 個体数
				冬季(1月)								
				東島				西島				
				P1		P2		P3		P4		
				個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	
1	カモ	カモ	スズガモ	0	0%	0	0%	200	74%	250	84%	450
2			ウミアイサ	2	3%	4	7%	0	0%	0	0%	6
3	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	0	0%	1	2%	12	4%	8	3%	21
4			ハジロカイツブリ	1	1%	0	0%	0	0%	1	0%	2
5	ハト	ハト	キジバト	0	0%	1	2%	1	0%	0	0%	2
6	カツオドリ	ウ	カワウ	57	72%	32	55%	8	3%	16	5%	113
7	ツル	クイナ	オオバン	3	4%	0	0%	0	0%	0	0%	3
8	チドリ	シギ	イソシギ	1	1%	1	2%	1	0%	1	0%	4
9		カモメ	ユリカモメ	2	3%	7	12%	24	9%	10	3%	43
10			セグロカモメ	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%	2
11	タカ	タカ	トビ	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1
12	スズメ	カラス	ハシブトガラス	1	1%	4	7%	4	1%	0	0%	9
13		シジュウカラ	シジュウカラ	0	0%	1	2%	0	0%	2	1%	3
14		ヒヨドリ	ヒヨドリ	3	4%	5	9%	14	5%	6	2%	28
15		ウグイス	ウグイス	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1
16		メジロ	メジロ	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	1
17		ヒタキ	イソヒヨドリ	1	1%	0	0%	0	0%	1	0%	2
18		スズメ	スズメ	2	3%	0	0%	2	1%	0	0%	4
19		セキレイ	ハクセキレイ	2	3%	1	2%	2	1%	2	1%	7
20		ホオジロ	アオジ	0	0%	1	2%	1	0%	0	0%	2
合計	8 目	17 科	20 種	79	100%	58	100%	270	100%	297	100%	704
				14 種		11 種		12 種		10 種		20 種

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 8 前回調査結果との比較：確認種（冬季）

No.	種名	調査時期			
		第 6 回 (R2～R3)		第 7 回 (R3～R4)	
		冬季(1 月)		冬季(1 月)	
		東島	西島	東島	西島
1	ヒドリガモ				○
2	カルガモ	○		○	
3	ハシビロガモ			○	○
4	オナガガモ			○	
5	ホシハジロ	○			○
6	スズガモ	○	○	○	○
7	ホオジロガモ			○	
8	ウミアイサ		○	○	
9	カンムリカイツブリ	○	○	○	○
10	ミミカイツブリ	○			
11	ハジロカイツブリ	○	○	○	○
12	キジバト	○		○	○
13	カワウ	○	○	○	○
14	アオサギ	○		○	○
15	オオバン	○	○	○	○
16	イソシギ	○	○	○	○
17	ユリカモメ	○	○	○	○
18	ウミネコ	○	○	○	○
19	セグロカモメ	○	○	○	
20	トビ	○	○	○	○
21	ノスリ	○	○	○	
22	カワセミ			○	
23	ハシブトガラス	○	○	○	○
24	シジュウカラ	○	○	○	○
25	ヒヨドリ	○	○	○	○
26	ウグイス	○	○	○	○
27	メジロ	○		○	○
28	ムクドリ		○	○	○
29	シロハラ		○	○	○
30	ツグミ	○	○	○	
31	ジョウビタキ	○	○		○
32	イソヒヨドリ		○	○	○
33	スズメ	○		○	○
34	ハクセキレイ	○	○	○	○
35	カワラヒワ	○	○		○
36	シメ	○			
37	アオジ	○	○	○	○
38	ドバト				○
合計	38 種	28 種	24 種	31 種	28 種
		32 種		36 種	

表 9 前回調査との比較：船上センサス結果（冬季）

No.	種名	調査時期			
		第 6 回 (R2～R3)		第 7 回 (R3～R4)	
		冬季(1 月)		冬季(1 月)	
		東島	西島	東島	西島
1	カルガモ	0	0	2	0
2	スズガモ	80	1	252	50
3	ホオジロガモ	0	0	2	0
4	ウミアイサ	0	3	0	0
5	カンムリカイツブリ	0	1	26	0
6	ハジロカイツブリ	0	3	2	22
7	キジバト	1	0	0	0
8	カワウ	65	27	76	52
9	アオサギ	3	0	2	2
10	オオバン	2	10	1	0
11	イソシギ	1	3	1	1
12	ユリカモメ	0	0	3	0
13	セグロカモメ	0	2	0	0
14	ハシブトガラス	3	0	3	4
15	ヒヨドリ	8	9	3	6
16	ハクセキレイ	1	2	0	2
17	アオジ	0	0	0	1
合計個体数		164	61	373	140
合計島別種数		9 種	10 種	12 種	9 種
合計種数		13 種		14 種	

表 10 前回調査との比較：ラインセンサス結果（冬季）

No.	種名	調査時期							
		第 6 回(R2～R3)				第 7 回(R3～R4)			
		冬季(1 月)				冬季(1 月)			
		L1(東島)		L2(西島)		L1(東島)		L2(西島)	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	ハジロカイツブリ	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
2	キジバト	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%
3	カワウ	64	73%	8	26%	111	72%	14	37%
4	オオバン	1	1%	4	13%	0	0%	0	0%
5	イソシギ	0	0%	4	13%	2	1%	0	0%
6	ユリカモメ	0	0%	0	0%	3	2%	1	3%
7	ハシブトガラス	0	0%	1	3%	6	4%	2	5%
8	シジュウカラ	2	2%	0	0%	2	1%	7	18%
9	ヒヨドリ	4	5%	5	16%	12	8%	5	13%
10	ウグイス	1	1%	0	0%	2	1%	1	3%
11	メジロ	0	0%	0	0%	2	1%	1	3%
12	ムクドリ	0	0%	0	0%	2	1%	2	5%
13	シロハラ	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
14	ツグミ	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
15	ジョウビタキ	1	1%	1	3%	0	0%	1	3%
16	イソヒヨドリ	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
17	スズメ	10	11%	0	0%	7	5%	0	0%
18	ハクセキレイ	1	1%	4	13%	2	1%	0	0%
19	カワラヒワ	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%
20	シメ	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
21	アオジ	2	2%	2	6%	3	2%	1	3%
合計	21 種	88	100%	31	100%	155	100%	38	100%
		11 種		10 種		13 種		12 種	

表 11 前回調査との比較：定点観察結果（冬季）

No.	種名	調査時期															
		第 6 回(R2～R3)								第 7 回(R3～R4)							
		冬季(1 月)								冬季(1 月)							
		東島				西島				東島				西島			
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
		個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度
1	スズガモ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	200	74%	250	84%
2	ウミアイサ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	3%	4	7%	0	0%	0	0%
3	カンムリカイツブリ	0	0%	1	2%	2	4%	0	0%	0	0%	1	2%	12	4%	8	3%
4	ハジロカイツブリ	0	0%	4	6%	3	6%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	1	0%
5	キジバト	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	1	0%	0	0%
6	カワウ	22	55%	40	65%	21	45%	19	63%	57	72%	32	55%	8	3%	16	5%
7	オオバン	1	3%	0	0%	3	6%	0	0%	3	4%	0	0%	0	0%	0	0%
8	イソシギ	0	0%	1	2%	3	6%	0	0%	1	1%	1	2%	1	0%	1	0%
9	ユリカモメ	1	3%	0	0%	2	4%	0	0%	2	3%	7	12%	24	9%	10	3%
10	ウミネコ	0	0%	0	0%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
11	セグロカモメ	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%
12	トビ	1	3%	0	0%	0	0%	1	3%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
13	ノスリ	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
14	ハシブトガラス	0	0%	1	2%	1	2%	1	3%	1	1%	4	7%	4	1%	0	0%
15	シジュウカラ	4	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	2	1%
16	ヒヨドリ	6	15%	8	13%	9	19%	6	20%	3	4%	5	9%	14	5%	6	2%
17	ウグイス	1	3%	0	0%	0	0%	1	3%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
18	メジロ	0	0%	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%
19	ツグミ	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
20	イソヒヨドリ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	1	0%
21	スズメ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%	2	1%	0	0%
22	ハクセキレイ	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	2	3%	1	2%	2	1%	2	1%
23	カワラヒワ	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
24	アオジ	1	3%	4	6%	1	2%	1	3%	0	0%	1	2%	1	0%	0	0%
合計	24 種	40	100%	62	100%	47	100%	30	100%	79	100%	58	100%	270	100%	297	100%
		11 種		9 種		10 種		7 種		14 種		11 種		12 種		10 種	

表 12 (1) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 7 回)

No.	種名	調査時期													
		第 1 回 (H27 夏～ H28 春)		第 2 回 (H28 秋～ H29 夏)		第 3 回 (H29 秋～ H30 夏)		第 4 回 (H30 秋～ H31/R1 夏)		第 5 回 (R1 秋～R2 夏)		第 6 回 (R2 秋～R3 夏)		第 7 回 (R3 秋～R4 夏)	
		東 島	西 島	東 島	西 島	東 島	西 島	東 島	西 島	東 島	西 島	東 島	西 島	東 島	西 島
1	オカヨシガモ				○		○		○	○					
2	ヒドリガモ									○	○				○
3	マガモ		○	○	○		○	○	○						
4	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	ハシビロガモ												○	○	○
6	オナガガモ				○	○	○			○				○	
7	コガモ							○						○	
8	ホシハジロ						○	○		○	○	○			○
9	キンクロハジロ										○				
10	スズガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	ホオジロガモ													○	
12	ウミアイサ		○					○	○	○			○	○	
13	カンムリカイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	ミミカイツブリ			○								○			
15	ハジロカイツブリ	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○
16	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	ゴイサギ					○									
19	ササゴイ		○												
20	アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	ダイサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	チュウサギ									○					
23	コサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
24	オオバン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	カッコウ科の一種											○			
26	コチドリ	○	○		○	○	○			○	○	○			
27	ヤマシギ												●		
28	タシギ								○						
29	キアシシギ									○					
30	イソシギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	キョウジョシギ					○	○								
32	ユリカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	ウミネコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	カモメ	○	○			○									
35	セグロカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	オオセグロカモメ	○	○	○	○	○	○					○		○	○
37	コアジサシ	○	○	○	○	○	○		○						
38	ミサゴ	○		○			○		○		○	○			
39	ハチクマ	○													
40	トビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表 12 (2) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 7 回)

No.	種名	調査時期													
		第 1 回 (H27 夏～ H28 春)		第 2 回 (H28 秋～ H29 夏)		第 3 回 (H29 秋～ H30 夏)		第 4 回 (H30 秋～ H31/R1 夏)		第 5 回 (R1 秋～R2 夏)		第 6 回 (R2 秋～R3 夏)		第 7 回 (R3 秋～R4 夏)	
		東 島	西 島	東 島	西 島	東 島	西 島	東 島	西 島	東 島	西 島	東 島	西 島	東 島	西 島
41	ハイタカ		○		○					○					
42	オオタカ	○		○	○	○	○		○		●	○	●		●
43	ノスリ		○	○	○	○		○		○		○	○	○	○
44	オオコノハズク														●
45	カワセミ			○			○			○		○		○	
46	チョウゲンボウ		○				○	○							
47	ハヤブサ			○	○	○	○	○	○						○
48	モズ			○	○	○	○	○	○	○	○			○	
49	カケス				○										
50	オナガ			○	○	○	○			○					
51	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	ヤマガラ												○		
53	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	ヒバリ						○								
55	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
56	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
58	オオムシクイ								○				○		
59	メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
60	オオヨシキリ			○		○				○	○	○			
61	ムクドリ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
62	コムクドリ				○	○									
63	シロハラ	○	○	○	○						●		○		
64	アカハラ	○			○			○			○				
65	ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
66	ジョウビタキ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	イソヒヨドリ	○	○		○		○		○		○		○	○	○
68	キビタキ	○				○									
69	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	キセキレイ			○											
71	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	セグロセキレイ				○								○		
73	タヒバリ						○				○				
74	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	シメ							○				○			
76	ホオジロ	○		○	○			○		○					
77	アオジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	オオジュリン			○						○					
79	ドバト	○	○					○			○	○	○		○
合計	79 種	41 種	40 種	44 種	47 種	42 種	45 種	38 種	38 種	44 種	41 種	40 種	38 種	36 種	35 種
		47 種		53 種		51 種		47 種		50 種		46 種		40 種	

注 1. ●: 自動撮影カメラのみで確認された種を示す。



写真 2(1) 鳥の島で確認された主な鳥類



オオバン(重要種)



イソシギ(重要種)



ユリカモメ



セグロカモメ



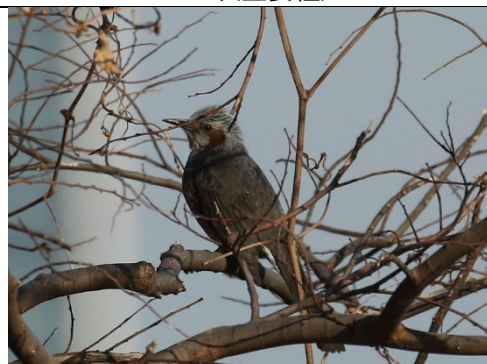
トビ(重要種)



ノスリ(重要種)



シジュウカラ



ヒヨドリ

写真 2 (2) 鳥の島で確認された主な鳥類



メジロ



ムクドリ



ツグミ



ジョウビタキ



イソヒヨドリ(重要種)



スズメ



ハクセキレイ



アオジ

写真 2 (3) 鳥の島で確認された主な鳥類

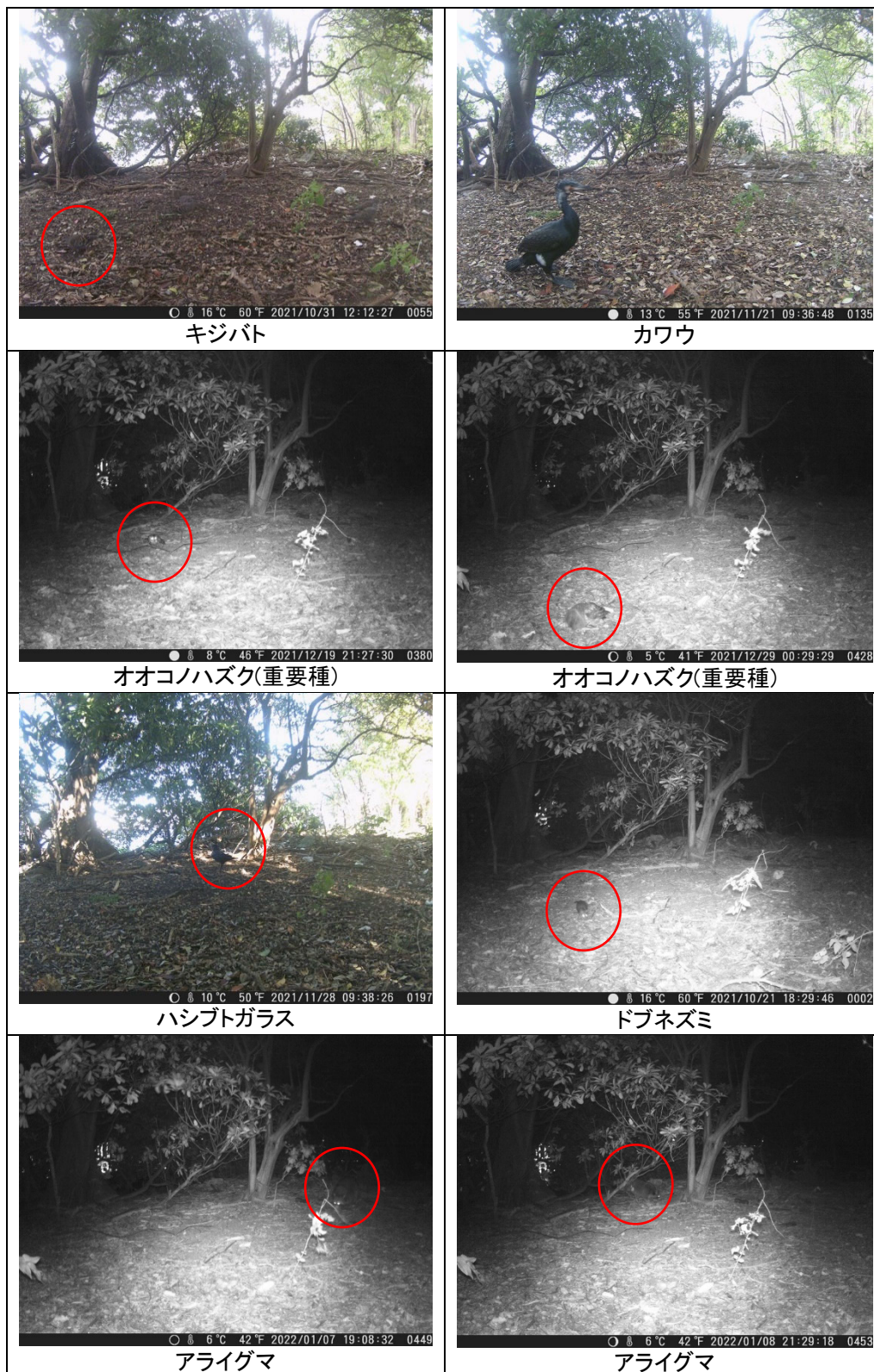


写真3 自動撮影カメラで確認された生き物